

【ポスター発表（海外展示）】

文化的アイデンティティと社会経済的不平等
民族融合は中国の児童虐待の民族的差別性を減らすことができるのか？

○ 華東師範大学 万国威

キーワード：民族異質性、児童虐待、社会経済的不平等

1. 研究目的

欧米諸国では、児童虐待における民族間の差異性に関する研究は十分に検討されたが、中国ではそのような研究は非常に限られている。本研究では、家庭環境における児童虐待の発生率、深刻度、危険因子における民族の差異を検討し、民族統合が児童虐待に与える影響を明らかにする。

2. 研究の視点および方法

本研究は、中国西部における小学校の2474名の女子児童を対象に質問紙調査を実施した。調査には、小学校4年生から11年生までの96クラスが参加した。本調査の実施は多段階クラスター・サンプリングを用いて行い、有効回答率は93.7%であった。調査票は全6ページで、児童情報（17問）、家族情報（16問）、児童虐待（10問）、児童保護（4問）という質問項目が構成される。

3. 倫理的配慮

本調査は所属機関より、児童情報、プライバシー、潜在的な損害に配慮して当該研究の承認を得られた。次のような重要な原則に従って、実施した。第一に、研究の対象となる個人、保護者、先生に研究の目的を説明し、研究の実施に同意を得た。第二に、研究活動において、他人の研究成果を盗用したり、研究データ等を改ざん、捏造、改変したりしないことを約束した。第三に、研究活動を行うにあたっては、人権を十分に尊重し、年齢、性別、人種、宗教、社会的身分、障がいなどによる差別をしないことを約束した。最後に、本研究の目的、方法および結果は、倫理的規範に則って実施した。

4. 研究結果

本研究では、以下の3つの結果を得られた。

第一に、中国国内の少数民族の児童は、漢民族の児童より広く、あるいは深刻な児童虐待のリスクに直面している。その理由は次の2点を挙げられる。まず、少数民族地域では、地域の資源が限られて、貧困率と出生率が高いため、養育者の負担が重くなる。それは「ストレス発散」理論と合致する。次に、貧しい少数民族の地域におけるジェンダーの不平等

は、社会資源により、さらに集中することである。

第二に、民族統合は、児童虐待の民族間の差異性の減少に良い影響を与えた。異なる民族は、子育ての知識やスキルなどを共有できる。社会経済的な状況が似ている場合のみ、子育てを学ぶための交流が可能である。ライフスタイルに大きな違いがある場合、異なる民族はそのような交流を無視したり、避けたりすることになる。

第三に、児童虐待の危険因子には民族の差異があり、民族統合によって虐待の危険因子の民族差を軽減することができると考えられる。子どもの学力は、一般的に児童虐待の有意な予測因子であるにもかかわらず、児童虐待のリスクには民族の差がある。家庭内における都市部への出稼ぎ労働者の数、子どもの教育に関わる頻度、家庭内の子どもの数、保育の年齢層なども、児童の虐待のリスクに影響を与える。

5. 考察

本研究に先立ち、児童虐待間の民族異質性に対する民族統合の影響は議論されてきた。いくつかの研究では、育児規範の再構築と近隣のストレスにより、児童虐待のリスクは民族多様性の増加に伴い低下すると考えられている (Barboza, 2019; Barboza, 2020; Guterman et al., 2009)。しかし、民族団結が多民族間のこの分野における異質性を解消することは難しいという反対意見もある (Klein & Merrit, 2014; Maguire-Jack et al., 2015; Morris et al., 2019)。これらの証拠は一般的に欧米諸国から来ており、世界の他の地域からの研究は多くない。本研究において中国西部における児童虐待には大きな民族の差異があることが明らかになった。民族の差異は、貧困および中国の残留児童福祉政策による逆境に起因するところが大きい。民族統合は、民族間の不均衡を部分的に緩和することができるが、異なる民族間に類似したライフスタイルが存在する状況において有効であると考えられる。中国のような多民族国家では、児童虐待への対応、多民族地域における質の高い児童福祉サービスの推進において、民族統合の積極的な役割を検証する必要がある。本研究は世界規模でのこの問題の議論に新たな証拠を提供した。